

伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会

伊勢志摩国立公園の現状

- ◆民有地の割合が高く(96%)、人の営みの中で育まれた自然景観や文化などの地域資源が豊富
- ◆自然体験活動が個々の事業者の裁量で実施されており、地域全体の戦略が確立していない

伊勢志摩国立公園でエコツーリズムを推進する意義

- ◆地域資源を保全しながら活用するというエコツアーが盛んであり、他の地域に対して優位性を持つ
- ◆国立公園利用者に対する高いポテンシャルを持つエコツーリズムの取組を地域全体で取り組むことで、より質の高いサービスを提供することが可能

【伊勢志摩国立公園エコツーリズム基本理念】

伊勢志摩の風土は 自分自身の心を映し出す【鏡】となります
伊勢志摩の地に立ち あなたの大切なものを映し出してください
伊勢志摩の風土に触れ もう一度 大切なものを思い出してください
私たちはこの地で あなたを映す【鏡】を磨き続けます

- ◆伊勢志摩への旅を通じて自分の大切なものを再認識していただく
- ◆訪れる方とともに持続可能な観光地域づくりを行う

伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進協議会 ＜スケールメリットを活かした取組を実施＞



短期的な取組

- ◆事業者支援
プログラムと経営体制の向上、新規参入者の育成、新たなマーケットの開拓
- ◆「伊勢志摩国立公園エコツーリズム推進全体構想」の策定
協議会理念をベースに「エコツーリズム推進基本方針」に即して作成

長期的な取組

- ◆エコツーリズムを地域産業として育成
雇用の創出・確保、事業拡大・継承、観光に適した基盤整備
- ◆エコツーリズムを通じた地域貢献
学校教育への関与、地域への誇りと愛着の創出、観光客と連携した地域づくり
- ◆地域資源の管理方法の検討
環境負荷に対する知見と対応策の検討、ルール作り
- ◆地域情報の収集と発信
- ◆国立公園の運営、管理費用の検討

エコツーリズムを核とした地域づくり